2026 年 10 月 29 日

各　位

会社名　　株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名　代表取締役社長　　高　井　　淳
（コード番号：155A　東証グロース市場）
問合せ先　取　締　役　　瀧　本　　崇
（TEL 03-6277-3461）

【特別対談 about AI #1】AI を「配る」時代は終わった――人間にしかできない価値を極限まで尖らせる、情報戦略テクノロジーの新・逆転シナリオを公式 note で公開

～代表取締役社長 高井と AICT 部 ミッション・ディレクター 藤本が語る、全社一律配布の罠からの脱却とシステム開発業界の勢力図を塗り替える戦略～

株式会社情報戦略テクノロジー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高井　淳、以下「当社」）は、2026 年 9 月に新設した社長直轄組織「AICT 部」の狙いと、今後の AI・ビジネスモデル変革シナリオを語る特別対談記事「【特別対談 about AI #1】AI を『配る』時代は終わった――人間にしかできない価値を極限まで尖らせる、情報戦略テクノロジーの新・逆転シナリオ」を公式 note にて公開いたしましたことをお知らせいたします。

本対談では、代表取締役社長の高井 淳と AICT 部 ミッション・ディレクターの藤本 雅俊が登壇。世間で広がる「生成 AI ツールの全社員一律配布」というアプローチに潜む構造的課題を指摘するとともに、数年後にコモディティ化する AI 時代を見据え、人間にしかできない強み（ヒューマニティ）を極限まで尖らせてシステム開発業界の常識を覆す当社の成長戦略を語っています。



記

■公式 note 記事 概要

記事タイトル：【特別対談 about AI #1】AI を「配る」時代は終わった――人間にしかできない価値を極限まで尖らせる、情報戦略テクノロジーの新・逆転シナリオ

対　談　者：代表取締役社長　高井 淳
AICT 部 ミッション・ディレクター　藤本 雅俊

記事公開 URL：https://note.is-tech.co.jp/n/n2cdc2d1a7b31

■対談記事のハイライト

1．序章：全社員一律提供という「罠」からの脱却――AICT 部が挑む真のパラダイムシフト
◇「一律配布」が招くコスト膨張と過剰な防御
全社員への均等な AI 配布は、管理コストの増大と過剰な制限による現場の機能不全を招く「罠」であると指摘。単なるツール配布ではなく、組織の戦力を劇的に変革する戦略拠点として社長直轄の「AICT 部」を立ち上げた経緯を語ります。

2．3～5 年で「AI の差別化」は消滅する――その後に訪れる、人間力と顧客チャネルの主戦場
◇ツールの優位性が失われた世界で問われる「泥臭いヒューマニティ」
AI の急速な進化により、数年以内に「AI を使っていること」自体による優位性は消滅すると予測。コモディティ化が進んだ後に勝敗を分けるのは、AI には代替できない「顧客との強固な信頼関係」と「泥臭い人間力」という当社最大の経営資源であることを明かします。

3．AI を使える人だけが優秀なのではない――「ヒューマニティに武器を授ける」という絶対方針
◇得意領域に特化させ、キーマンに専用 AI エージェントを手渡す
コミュニケーションに秀でた営業メンバーに無理なプロンプト入力を強いるのではなく、顧客と向き合う才能を解き放つために、AICT 部が専用の強力な武器（AI エージェント）を設計・提供する育成・組織方針を提示します。

4．現場は自作するな、要望を丸投げせよ――「改革志向タイプ」と「実務・改善志向タイプ」の徹底した役割分担
◇創る側と使う側のプロフェッショナルな共創
現場がツール開発を抱え込む必要はなく、困りごとを AICT 部に“丸投げ”することでゼロからの「改革」を推進。現場は完成した武器を使い倒してフィードバックを返すという、思考特性に基づいた強固な役割分担のあり方を解説します。

5．開発現場の生産性を極限まで高め、業界の勢力図を塗り替える――プライス戦略
◇圧倒的な生産性向上を武器にしたディスカウントと市場シェア獲得
従来の開発工数をトップエンジニアと AI エージェントによって劇的に圧縮。生み出された余力をもとに戦略的な価格競争力を展開し、エンジニアを「上流の課題解決者」へとシフトさせながら、受託開発市場の勢力図を覆す青写真を描きます。

6．12 月末までの短期決戦――「実感」を創り出し、システム開発業界のジャイアント企業たちをひっくり返す未来へ
◇年内デッドラインで目に見える成果を叩きつける電光石火のスピード感

現場に「劇的な変化」を体感させるため、12 月末をデッドラインとした短期決戦で具体的な活用基盤と成功事例を構築。日本の IT 業界における長年の序列を打破するための決意を語っています。

■代表取締役社長 高井 淳 のコメント（対談より抜粋）

「今この瞬間に訪れている AI の劇的な地殻変動と、それによって再定義されるヒューマニティの価値を見据えた時、確信に変わりました。この 2〜3 年を本気で駆け抜ければ、業界の序列を完全に覆すことができる。今、私たちは創業以来最大の大チャンスの入り口に立っています。会社はすでに変わり始めているんだという手応えを、社員全員に届けたい。AICT 部はそのための最強の先鋒部隊です。」

■今後の展望

当社は、発足した「AICT 部」を中心に既存業務の AX（AI トランスフォーメーション）を電光石火で進め、年内を目標に現場が実感できる成果と基盤の確立を目指してまいります。今後も公式 note をはじめとする情報発信を通じて、実践事例や開発現場のリアルな変革プロセスを順次お届けしてまいります。

■会社概要

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロース・155A）
代表者：代表取締役社長 高井 淳
所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F
電　話：03-6277-3461
事業内容：大手企業向け DX 内製支援サービス等
URL：https://www.is-tech.co.jp/

以上